

慢性腎臓病患者における副甲状腺機能亢進症とレニン・アルドステロン系の関係

はじめに

神戸大学医学部附属病院腎臓内科では、副甲状腺摘出術を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

1. 研究概要および利用目的

神戸大学医学部附属病院腎臓内科では、慢性腎臓病の患者さんを中心に診療しております。慢性腎臓病ではカルシウムやリンなどの電解質異常が起こり、それに伴い副甲状腺ホルモンが分泌されることが知られております。副甲状腺ホルモンは、これらの電解質異常との関連だけでなく、心臓の肥大や、血圧を上げるホルモンであるレニン、アルドステロン系との関係について少しずつ注目されつつあります。

しかし、まだ十分な検討は行われていないため、2003年1月1日～2017年11月30日のあいだに当科に入院して副甲状腺摘出術を受けた患者さんのデータをカルテから収集し、比較することで、これらの関係を探索する研究を実施することといたしました。

2. 研究期間

この研究は、2017年12月1日から2020年11月30日まで行う予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・患者背景:性別、年齢、身長、BMI、診断名、薬剤、血圧、合併症、既往症、透析の条件・透析歴、腎移植歴・方法
- ・血液検査の結果:貧血(赤血球、ヘモグロビン)
電解質(カルシウム、リン)
骨の代謝に関わるもの(副甲状腺ホルモン、骨代謝マーカー、副甲状腺エコー)
レニン、アルドステロン
心臓の負担(心エコー、BNP)
腎機能の指標となるもの(eGFR、尿素窒素、クレアチニン、尿検査)

4. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科腎臓内科学研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。

5. 試料・情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学医学部附属病院腎臓内科 責任者:河野 圭志

6. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

7. 研究終了後のデータの取り扱いについて

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、論文等の発表から 10 年間は保管され、その後は患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めに申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

8. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

9. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。

10. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

神戸大学医学部附属病院 腎臓内科 担当者:河野 圭志

神戸市中央区楠町 7-5-2

078-382-6500

研究責任者:

神戸大学医学部附属病院 腎臓内科 河野 圭志